

製品名: DLX3 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02972

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 32 kDa

抗原情報

遺伝子名	DLX3
別名	AI4; TDO
遺伝子 ID	1747
SwissProt ID	O60479
免疫原	ヒト DLX3 の合成ペプチド

背景

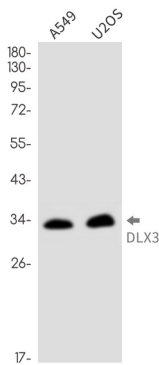
ショウジョウバエの発生遺伝子との配列相同性に基づき、多くの脊椎動物のホメオボックス含有遺伝子が同定されています。Dlx 遺伝

子ファミリーのメンバーは、発生中のショウジョウバエの頭部と四肢で発現する遺伝子である Distal-less (Dll) のホメオボックスと関連するホメオボックスを有しています。Distal-less (Dlx) 遺伝子ファミリーは、DLX1~DLX6の少なくとも6つの異なるメンバーで構成されています。常染色体優性疾患である毛状歯骨症候群 (TDO) は、DLX3 遺伝子の変異と相関関係にあります。この遺伝子は、17番染色体長腕において、遺伝子ファミリーの他のメンバーと尾と尾を繋いだ配置で位置しています。この遺伝子の変異は、常染色体優性疾患である毛状歯骨症候群や、タウロドント症を伴う歯冠形成不全症と関連しています。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



DLX3 抗体を使用した A549、U2OS 溶解物中の DLX3 のウエスタン ブロット分析。